Global×Innovation人材育成フォーラム
中間まとめ

～未来を創造し担う若者たちが
世界に羽ばたける留学環境とチャンスを～

ワンポイント解説

令和６年11月18日
『世界を舞台に！留学全力応援イベント』

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

Global
×
Innovation
人材育成
フォーラム

Global×Innovation人材育成フォーラム では、産学官から12名の多様な委員が集い、多様な観点で深い議論を展開しました。

【開催日時(令和6年)】
第1回　7月　5日(金)16時～18時
第2回　7月30日(火)16時～18時
第3回　8月　6日(火)16時～18時
第4回　8月30日(金)16時～18時

Global×Innovation人材育成フォーラム　委員

伊藤 公平 慶應義塾 塾長	大槻 祐依 株式会社 FinT 代表取締役	小路 明善 座長 アサヒグループホールディングス株式会社 取締役会長兼 取締役会議長	田中 明彦 独立行政法人 国際協力機構 理事長	南場 智子 株式会社 ディー・エヌ・エー 代表取締役会長	日色 保 日本マクドナルドホールディングス 代表取締役社長兼 CEO
廣津留 すみれ ヴァイオリニスト、国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授、大分市教育委員	藤井 輝夫 東京大学 総長	Pezzotti Giuseppe 京都工芸繊維大学 教授	前川 明範 京都府教育委員会 教育長	正宗 エリザベス 株式会社アット・アジア・アソシエイツ・ジャパン 代表取締役	吉岡 知哉 独立行政法人 日本学生支援機構 理事長

※五十音順・敬称略
(役職は８月30日時点)

Global
×
Innovation
人材育成
フォーラム

Global×Innovation人材育成フォーラム

中間まとめ手交式

議論の内容を踏まえ、
Global×Innovation人材育成フォーラム中間まとめ

「～未来を創造し担う若者たちが
世界に羽ばたける留学環境とチャンスを

をとりまとめ、10月１日に藤原文部科学事務次官へ
手交し、公表しました。

その中間まとめについて、
４つのポイントに沿って御紹介します！

Global
×
Innovation
人材育成
フォーラム

Global×Innovation人材育成フォーラム中間まとめ

文部科学省

４つのポイント

1 若者の多様な成長を支える留学機会の提供

2 経済的支援

3 体制・環境整備

4 留学の機運醸成

1)若者の多様な成長を支える留学機会の提供

文部科学省

中学校や高等学校等の早い段階から
多様な国際経験の機会に
誰もがアクセスできるよう、
地方公共団体・学校関係者に求める

大学等は、留学の有無に関わらず
国内にいながら国際経験が積める
体制の構築を進めるべき

2）経済的支援

【学部学生・高校生等】
できるだけ多くの学生・生徒に留学に挑める環境とサポートが求められる
【大学院生】
人的ネットワークの構築に加え、「総合知」にも繋がるような学びを支援すべき

そのため、
・経済的支援の抜本的な充実が必要
・国費による奨学金の
　単価の見直しと充実は必須

「トビタテ！留学JAPAN」をはじめ、
民間企業・団体等からの支援は
引き続き継続・拡充される
ことが望ましい

3）体制・環境整備

初等中等教育段階の
国際交流について、
全国で取り組めるよう政府が
集中的に支援すべき

大学等において全学生が
留学する前提の教育を展開し、
留年や休学することなく
留学できる環境を実現することが急務

就職活動の早期化・長期化が留学を
躊躇する一要因として
指摘されている現状の改善に向けて
産学官が取り組んで行く

4）留学の機運醸成

文部科学省

留学経験で得られた成果が評価されるという
認知を社会全体で向上
産業界に、留学の成果を積極的に評価する
メッセージを強く打ち出すよう期待

留学の実情や海外留学支援制度等
については政府が発信し、
教師や保護者等の認知度を高める

海外留学情報サイト

海外体験や留学への支援が探せる
留学奨学金
検索

早期から世界の多様性等を
体感できる機会として、
外国人留学生・教員等と
接する機会や姉妹都市との
交流機会の活用等を推奨